

令和元年度 自己評価書

学校名 北海道士幌高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力を育てる。
- (2) すべての教育活動を通して、生徒の自律性の伸長を図る。
- (3) 進路目標が達成できるよう、継続的に努力する態度を養う。

2 本年度の経営方針

- (1) 生徒たちが「社会の中でよりよく生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を育むために自ら考え、判断し、決定し、行動する資質を育む特色ある教育活動を展開する。
- (2) 教職員の日常の対話と議論を通して合意形成を図り、協働意識を高め、組織連携による指導体制の充実を図る。
- (3) 地域との行動連携により、地域とともにある学校作りを進める。
- (4) 育成を目指す資質・能力（「何ができるようになるか」）、SDGs（持続可能な開発目標）及び将来ビジョンを持って生徒が自ら言語化できるような教育活動を推進する。
- (5) 全ての教職員が授業や授業準備等に集中し、健康で生き生きとやりがいを持って勤務でき、教育の質を高められる環境を構築する。

3 自己評価結果 評価基準 A：十分である(3.2～)、B：概ね十分である(2.8～3.2)、C：やや不十分である(2.4～2.8)、D：不十分である(～2.4)

分野・領域	評価項目	教職員	保護者	評価	改善の方策
学習指導	1 個に応じた学習指導を行い、基礎、基本の定着を図っている	3.11	3.02	B	・11については、基本事項の小テストを実施するなど、定着をしっかりと図りたい。 ・3については、近年不十分な結果となっている。家庭学習の大切さや自主的に学ぶ、勉強する習慣の必要性を継続して、訴えていく必要がある。課題以外の部分についても、各教科で評価の中に組み込むなど様々な手法をとっていききたい。
	2 生徒の特性や進路希望に応じた学習指導により、学力の向上を図っている	3.26	3.35	A	
	3 課題等で生徒の家庭学習の習慣化を図り、生徒が自主的に学ぶ力を育てようとしている	2.37	3.11	C	
	3 自主的・能動的な学習態度を育成し、学習意欲の向上を図っている	2.63		C	
	4 学習指導要領に則った授業改善（観点別評価を含む）を進めている	3.37		A	
	5 相互参観後の授業研究や授業評価アンケート等を活用して授業力の向上を図っている	3.53		A	
生徒指導	1 日常的に行動観察や面談、カウンセリング等を通じて生徒理解に努めている	3.37	2.98	B	・3の生徒会活動については、今後、他校との研修の機会等を通じ、主体的な行動ができるよう意識改革を図っていききたい。 ・4については、引き続き継続して生徒へ指導することは勿論、役割をしっかりと与えるなどし、協力し合う姿勢を育んでいきたい。
	2 日常的に挨拶指導や身だしなみ指導を継続して行っている	3.05	3.68	A	
	3 生徒会活動や部活動を通して、生徒が主体的に行動できる力を育てようとしている	2.79	3.71	A	
	4 集団の一員として責任を果たし、また、互いに協力して助け合う姿勢を育てようとしている	2.89	3.47	B	
	5 巡回、面談、アンケート調査等を行い、いじめ未然防止や早期発見に努めている。	3.47	3.11	A	
進路指導	1 面談等で自己理解を深めさせ、能力や適性に応じた進路目標を設定できるよう指導している	3.32	3.23	A	・キャリア教育の推進には、十分努めることが出来たが、今後は、3年間を見通した進路指導が出来るよう、進路行事等の配列等の工夫を行っていききたい。 ・進路目標については、早目に設定させるような指導の工夫を考えたい。
	2 社会人講話、模擬面接、職業体験(インターシップ)等を通じ、キャリア教育を進めている	3.74	3.40	A	
	3 各種検定・資格取得を奨励し、キャリアアップを促進している	3.42	3.69	A	
	4 3年間の系統だった進路指導を分掌主導で展開している	3.16		B	
健康安全指導	1 生と性に関わる講話やボランティア活動の奨励等、生徒の健全な心身の育成に努めている	3.53	3.10	A	ボランティア活動には積極的に参加はしているが、更に沢山の生徒が参加するよう日常の清掃活動等も含め、意識啓発等を行っていききたい。また、講演によっては事前指導を含め、取り組んでいきたい。
	2 避難訓練や薬物乱用防止講話、交通安全講習会等を通じ、防災・防犯・安全教育に努めている	3.68	3.37	A	
	3 日常の清掃活動や委員会活動を通じ、公共心や環境保全の意識を涵養している	3.16	3.27	A	
学校運営	1 本年度の重点目標、経営方針、教育計画と照らし合わせながら教育活動に取り組んでいる	3.11		B	・学校設定科目「上士観学」では前年度より町内関係機関の協力をいただき、授業を進めることが出来た。来年度は、更に発展したものとなるよう連携を深めていきたい。 ・学校ホームページについては、かなりの頻度で更新を行ったが、地域への情報発信の方法については、様々な形で、より浸透するような方法を模索していききたい。 ・退勤時間の意識化については、昨年度よりは改善させているようだが、次年度は、更に意識強化を図りたい。
	2 教職員間の報告、連絡、相談を密にした協働体制により行動連携を図っている	3.21		A	
	3 教育活動の点検、評価を適切に行い、問題解決の道筋を共有して工夫・改善を図っている	3.16		B	
	4 優先業務及び退勤時刻の意識化、業務外業務の削減等、時間外勤務の縮減に努めている	3.00		B	
	5 教育公務員として、服務規律の保持に努めている	3.74		A	
	6 町の関係機関等と連携した教育活動や公開授業により開かれた学校づくりに力を入れている	3.63	3.65	A	
	7 各通信の発行やホームページの更新等により、保護者や地域へ適度に情報を発信している	3.58	3.55	A	